

同じアジアに住む

一人の少女の夢を かなえたい！



ここはインドネシア、日本との結びつきが深く私たち日本人の生活を支えている国でありながら、あまり知られていない。そんな国の首都ジャカルタのスラムに住む一人の少女は夢を抱きながら**小学校さえ卒業**できていない。

インドネシア教育振興会(IEPF)

東南アジア最大の都市ジャカルタ。貧富の格差は年々拡大するばかり。都市のスラムの風景です。



踏み切りと踏み切りの間にそのスラム街がある。周りはゴミだらけで、ゴミを焼却し環境も悪い。



電車や機関車がスラム街を通り抜ける、いや路肩に違法建築しているのだ。良く電車にひかれて死亡する。



スラムの女性の仕事は洗濯

子どもは近くの井戸からの水汲み

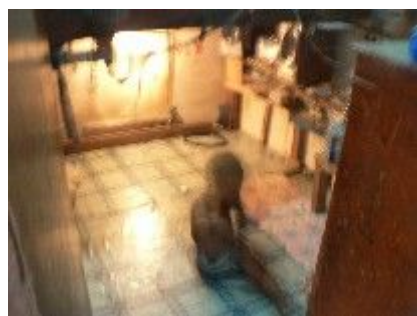
男性の仕事はゴミ拾い



スラム内のプラスチック買取所

プラとビニール類に別ける

買取値段は低迷、韓国企業に売却する。



スラムの民家、はしごみたいな階段

2階の部屋、2M四方程度で4名寝泊り

スラム街の子ども達、学校へ通えない

スラムに住む一人の少女には、**夢と希望**があった！

学校へ行きたい！ そして 医者になりたい！！



名前は ESTER 14 歳 07 年 11 月には 15 歳になる。小学校には 4 年生まで通った。5 人兄弟の 2 番目。将来の「夢」は「医者」になること。この辺に住む人は病気が多いから、しかし病院に行けない。父親の職業は、ゴミ拾い。朝から夜中まで働いて 1 日 100~200 円程度、生活はその日暮らしです。実は ESTER の服はボロボロでスカートのチャックは壊れて閉まっていない。裸足の生活。今日は精一杯のオシャレしました。

まずは、小学校を卒業させたい！ 08 年から小学校に通わせたい！

ジャカルタ・スラムから脱出させ、2 年間下宿で小学校に通う費用の善意を募集しています。

1 日 2 食分 Rp13, 下宿費 Rp300, 学費 Rp400, ×2 年分 = ¥348000 制服・教科書・移動費 ¥50000

郵便局 口座番号：00790-6-51002、 加入者名：IEPF

銀行 銀行名：富山県信用組合、支店名：藤ノ木支店、口座番号：2019923、

口座名：インドネシア教育振興会